

**11月13日～15日 広島で開催
「全国産業安全衛生大会」「緑十字展」
プログラムが決定！**

中央労働災害防止協会（中災防、会長 十倉雅和：日本経済団体連合会会長）は、11月13日（水）から15日（金）まで、広島市（会場：広島県立総合体育館、広島国際会議場他）で「第83回全国産業安全衛生大会」「緑十字展2024」を開催します。このたびプログラムの詳細が決定しました。

【第83回全国産業安全衛生大会】

1日目の総合集会では、第1部として開会式、安全衛生に功績のあった方々の表彰式等を行います。第2部では厚生労働省労働基準局による講演、為末大氏（Deportare Partners 代表／元陸上選手）による特別講演「熟達しつづけるために」を行います。

2日目・3日目は10のテーマごとに分科会を設け、全国の企業・団体等が研究発表を行います。さらに安全衛生の専門家によるプログラムとして、「化学物質の自立的管理」をテーマとしたパネルディスカッション、官民協働で取り組む「病気の治療と仕事の両立支援」に関するシンポジウム、転倒災害防止対策の取り組みについて広島、岡山の各労働局による特別報告の他、産業保健の専門家と企業の管理者がそれぞれの立場から心理的安全性の高い職場について語る鼎談があります。

また、オタフクソース株式会社代表取締役社長の佐々木 孝富氏、伝統的工芸品「熊野筆」の製造販売を行う株式会社晃祐堂代表取締役社長の土屋 武美氏、広島工業大学工学部教授の宗澤 良臣氏、職業能力開発総合大学校教授の中村 瑞穂氏、常磐大学人間科学部教授の申 紅山氏、法政大学キャリアデザイン学部教授の廣川 進氏など各分野でご活躍の方々による講演も予定しています。

3日間で約190題の豊富なラインアップで安全衛生に関する最新情報を提供します。また、現地での発表とは別に、11月13日から11月29日までオンライン限定プログラム（約60題）の提供を行います（現地プログラムの配信は行いません）。

（裏面に続く）

【緑十字展 2024】

緑十字展は、安全衛生保護具・機器等の総合展示会です。本年は、140社（520小間）を超える企業・団体が出展します。働く人の安全・健康・快適にかかわる幅広いジャンルの製品・技術・サービスに触れることができ、来場者と出展者との情報交換、ビジネスの場となっています。

会場では毎年好評の企画展「安全衛生保護具体験道場」を開催する他、今回は特別企画展として「中四国ビジネスマーケット」を開催します。働く人の安心づくりにかかわる商品・サービスを提供する中四国エリア9県の企業・団体が出展します。

また、広島労働局による行動災害防止に向けた取り組みを展示や動画で紹介するブースを設けます。

休憩コーナーでは、広島ならではの特色のある駅弁の販売を行います。

本大会・展示会は、産業界、行政、労働安全衛生関係者等が一堂に会し、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという決意を新たにする場であり、働く人の安全や健康、防災等に関する多種多様な情報・ノウハウを共有する機会となります。10年ぶりの広島開催となる今回は、3日間を通して全国産業安全衛生大会は約1万人の参加者を、また緑十字展は約1万5千人の来場者を見込んでいます。

下記特設ウェブサイトではプログラムの詳細や最新情報をご覧ください。

○第83回全国産業安全衛生大会
特設ウェブサイト
<https://jisha-taikai2024.com/>



（概要、参加申込、プログラム等）

○緑十字展 2024
特設ウェブサイト
<https://gce.nep-sec.jp/>



（事前来場登録、出展一覧、企画展詳細等）

（注）中央労働災害防止協会は、昭和39年に労働災害防止団体法に基づき設立された特別民間法人で、事業主の自主的な労働災害防止活動を支援するため、「企業の人材の育成」、「安全衛生の専門技術の提供」、「安全衛生情報の提供」など安全衛生の総合的な事業を行っています。

※この資料は、厚生労働記者会、厚生労働省労政記者クラブ、厚生日比谷クラブ、自動車産業記者会、鉄鋼研究会、広島経済記者倶楽部に配布しています。

特別民間法人 中央労働災害防止協会
教育ゼロ災推進部長 寺島 友子

【取材照会先】

総務部広報課長 岩田 良子
（電話）03-3452-6542 （FAX）03-3453-8034
（E-mail）koho@jisha.or.jp